

保育・教育の場としてのこども園の役割を考える

0歳児から就学前の子ども達を預かるこども園はいったいどんな所でなければならないのか？最近よく考えます。「ハンガリー たっぴりあそび、就学を見通す保育」という本の中にこう書かれていました。

保育園の課題は

- 1, 子どもが安全に過ごせること
- 2, 子どもが安心して過ごせること
- 3, 子どもが持っている能力を最大限に伸ばせること
- 4, 子どもが、生きていくために必要な知識や技能、技術を、年齢相応に身に付けれること
- 5, 子どもの人格が尊重されること・・・私たちが考える理想の園の条件です。

そして、保育士の役割と課題として、保育士は 遊びの条件を整え(保育環境を整える)、遊びに表れる子どもの発達を見極め、必要に応じて褒め、励まし、助言し、更なる発達に繋がるように子どもの関心や興味に合わせて環境を整えていくことが大事だと記載してあります。これを見ると保育士がどう子どもに対応していかねばならないのか？よくわかります。決して、一斉に子どもを動かすことが良いことではないのです。

社協3園は基本「自分の力で！」です。子ども達も心得たもので、冒険レンジャーに上る時、木登りする時、竹馬に乗る時・・・大人は加勢しないことを良く知っています。自分の力でできないことを周りが手助けして、できたとしても怪我をする可能性が高いことを知ってるからです。先日も園見学に来た4歳の子が、冒険レンジャーに上ろうとした時、ばなな組が走って行って、「自分の力で上るんだよ！」「ここに足を掛けるんだよ！」「腕はこんなして曲げるんだよ！」と教えていました。「ああ しっかり身につけているなあ」とうれしく思ったところです。「子どもが主体の保育」は、「自由奔放でけじめが無い！」と誤解されやすいのですが、自由に遊ぶためのたくさんのルールがあります。子ども達には、ひとつずつ丁寧に「なぜ？」を理解させながら根気よく教えていきます。その時、「命令・指示」ありません。それを守ること、守れることが社会のルールを守ろうとする第一歩になるのだと思います。

卒園式の衣装について

3月の卒園式の衣装について、「例年着ている園児服を貸していただけないだろうか？」といった相談を受けました。本年度から、卒園式の服装に関しては、「自由」といったことを4月時点で打ち出していましたので、そのつもりの方もいらっしゃるのではないか？と思います。

そこで、基本、卒園式の服装は自由とします。しかし、園の園児服の貸し出しも致します。担任の方にお申し込みください。

***園児服を借りた方は、クリーニングに出してお返してください。**

令和3年度卒園式

日程 令和4年3月6日(日) 10:00~11:00位まで

参加対象 ばなな組園児 その保護者(2名まで) 詳細は後日連絡いたします。



*画像・動画使用のお願い

都城市社会福祉協議会 みやこんじょボランティアフェスティバル 2022 実行委員会より子ども達の活動の様子などの動画をインターネット配信するといった企画で、ばなな組の子ども達への取材を行いたいという要請が来ました。そこで、画像使用にあたって承諾書をお願いしたいと思います。詳しい説明文などを頂いていますので、提出をお願いします。期限が1月7日までになっていますので、よろしくをお願いします。